

様式 2

観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	音楽 131 音楽 231 音楽 331 音楽 431 音楽 531 音楽 631	小学音楽おんがくのおくりもの 1 小学音楽音楽のおくりもの 2 小学音楽音楽のおくりもの 3 小学音楽音楽のおくりもの 4 小学音楽音楽のおくりもの 5 小学音楽音楽のおくりもの 6
取 扱 内 容	<p>歌唱 第 1,2 学年では、遊びながら歌う活動、楽曲の気分を感じ取る活動、第 3,4 学年では、意図をもって歌う活動、音色や旋律の特徴を生かした表現を工夫する活動、第 5,6 学年では、響きを感じ取って歌う活動、歌詞や曲想を生かした表現を工夫する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>器楽 第 1,2 学年では、簡単なリズムや旋律を演奏する活動、第 3,4 学年では、曲想にふさわしい表現を工夫する活動、音の重なりや気をつけて演奏する活動、第 5,6 学年では、楽器の特徴を生かして表現する活動、楽器の組合せや響き、表現効果を工夫する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>音楽づくり 第 1,2 学年では、声や身の回りの音を使った音遊びや簡単な音楽づくりを楽しむ活動、第 3,4 学年では、いろいろな音の響きや組合せを楽しむ活動、即興的に表現する活動、第 5,6 学年では、音楽の形や方法を考える活動、まとまりのある音楽をつくる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>鑑賞 第 1,2 学年では、楽曲の気分を感じ取り、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取る活動、第 3,4 学年では、曲想とその変化、楽曲の構造に気をつけて聴いて感受したことを書く活動、第 5,6 学年では、楽曲の構造を理解して聴いて書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>〔共通事項〕 第 1,2 学年では、拍の流れにのって歌ったり、様子を思いうかべて聴いたり、第 3,4 学年では、旋律の特徴を生かして演奏したり、曲の流れを感じ取って聴いたり、第 5,6 学年では、楽曲を理解して演奏したり、音色を味わって聴いたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応 第 1,2 学年では、歌に合う打楽器を選んで打ち方を工夫する、第 3,4 学年では、図形化した旋律を見ながら鑑賞する、第 5,6 学年では、楽器群ごとに色分けした楽譜を見ながら音色に着目して鑑賞するなど、各ページに示された〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習活動が取り上げられている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>内容の構成・排列 第 1,2 学年では、様々な音を感じ取る学習の後に、音楽の面白さを見つけながら工夫して演奏したり、聴いたりする学習を取り扱い、第 3,4 学年では、〔共通事項〕に気付く学習の後に、様々な音楽のよさを感じ取って特徴を生かして表現する学習を取り扱い、第 5,6 学年では、〔共通事項〕を感じ取る力を身に付ける学習の後に、言葉と音楽とのかかわりなどを理解し、音楽表現を深める学習を取り扱うなど、系統的、発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>内容の分量 第 1 学年～ 歌唱の教材数は 42、器楽の教材数は 13、音楽づくりの教材数は 8、鑑賞の教材数は 13 第 2 学年～ 歌唱の教材数は 36、器楽の教材数は 17、音楽づくりの教材数は 7、鑑賞の教材数は 19 第 3 学年～ 歌唱の教材数は 30、器楽の教材数は 20、音楽づくりの教材数は 3、鑑賞の教材数は 18 第 4 学年～ 歌唱の教材数は 30、器楽の教材数は 16、音楽づくりの教材数は 4、鑑賞の教材数は 40 第 5 学年～ 歌唱の教材数は 31、器楽の教材数は 15、音楽づくりの教材数は 3、鑑賞の教材数は 72 第 6 学年～ 歌唱の教材数は 28、器楽の教材数は 14、音楽づくりの教材数は 3、鑑賞の教材数は 9</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>巻頭に「音楽家からのメッセージ」(第 4～6 学年)や巻末に資料を掲載したり(全学年)、北海道民謡の「ソーラン節」を歌唱と器楽の教材として取り上げたり(第 4 学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>主要教材ごとに「学習のねらい」や〔共通事項〕を示したり(全学年)、活動のポイントを示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>「音楽のもと・まとめ」に各学年で学習した〔共通事項〕(全学年)や、巻末の折り込みページに「リコーダーの運指表」と音符・休符、記号などを掲載したり(第 3～6 学年)、イラストの配色や囲みの形状を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	北海道と関連のある教材は、「ソーラン節」など、5 箇所取り上げられている。			

